



好学愛知 自律敬愛 質実剛健

鶴丸イ言

鹿児島県立鶴丸高等学校

〒890-8502 鹿児島市薬師二丁目1番1号

TEL 099-251-7387 FAX 099-255-3433

http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Tsurumaru/top.html

5月の行事予定

5月		
1	木	新体力テスト2年(午後)
2	金	新体力テスト1年(午後) 中掃除 実力考査時間割発表 PTA評議員会
3	土	憲法記念日
4	日	みどりの日
5	月	こどもの日 3年学研模試
6	火	振替休日 3年学研模試
7	水	
8	木	検尿二次
9	金	検尿二次 交通安全教室(7限)
10	土	
11	日	
12	月	学校安全の日 クレパリン検査(1限)
13	火	実力考査(1日目) PTA総会
14	水	実力考査(2日目)
15	木	実力考査(3日目, 3年1限のみ)
16	金	避難訓練
17	土	
18	日	
19	月	全校朝会 集団読書(3年)
20	火	
21	水	PTA総会欠席者会
22	木	
23	金	
24	土	
25	日	
26	月	集団読書(2年)
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	
31	土	

四月八日(火)、第62回入学式が挙行された。緊張した面持ちの新生一年生は、まだ着慣れない制服を身にまといながら、咲き始めた桜を迎えられた校門をくぐった。

入学式の式辞では、小倉寛恒校長が、「皆さんが鶴丸高校で高校生活を送る上で、心に刻んで達成して欲しいこと」として

一、自らの夢や希望を表現するために邁進してほしい。鶴丸高校入学は通過点であり、到達点ではない。皆さんそれぞれにこれからの将来に向かって「志」を立て、その実現に向けて日々の努力を怠らず邁進して欲しい。

二、規律正しい生活習慣の下で、自らの心身を鍛練することを心掛けて欲しい。本校で規律ある学校生活を送ることは、集団生活における役割の自覚と責任を体得し、将来、他人に迷惑を掛けずに自らを律して行動できる人間の第一歩につながる。日々の学校生活の中で、一つ一つをおろそかにせず、大切に過ごして欲しい。

三、物事に感動するしなやかな心を形成してほしい。人間が成長していく上で大切なことや生きていく上で力になることは、色々なことに「感動する心」を持つことである。皆さんには身体を鍛えるとともに、歴史や文学と対話し、優れた芸術作品に触れるなどして潤いと感動に満ちた高校生活を送って欲しい。

第62回入学式挙行



入学式の様子

と述べ、新入生代表の泊開くんが「これから鶴丸高校の生徒として先輩方が築いて来られた素晴らしい校風を受け継ぎ、なお一層充実発展させていくよう、全力を尽くすことを誓います。」と力強く宣誓を行った。

新入生たちが一日も早く高校生活に慣れ、それぞれが思い描く夢に向かって、充実した日々を送ることを心から祈る。

新任の先生方着任!

本年度も定期人事異動により十二名の先生方が着任されました。(左記は旧任教等)

事務局長	野田章洋	鹿児島工業学校事務局長
教頭	岡留秀一	高校教養課指導主事
地歴公民	里村大志	鹿屋高校
数学	中村浩二	鹿屋高校
数学	鮎川武良	加治木高校
理科	東健一	国分高校
英語	蔵元昭二	県立図書館主査
英語	大倉秀心	大島高校
英語	上村英治	鹿児島大学講師
事務次長	穴野隆宏	校内昇任
事務主査	有川幹代	県立図書館主査
事務主査	酒匂晋一	榕城小学校事務主査

先生方、これからどうぞ宜しくお願い致します。

甲鶴煌輝



甲鶴煌輝の活躍

大地を揺るがす 幾千の鼓動

生徒会 体育局長 勝目翔太

四月十八日、穏やかな春の陽気の中で、第38回甲鶴交歓会が回甲南・鶴丸スポーツ交歓会が開催された。今回の甲鶴戦は、水泳が正式種目として追加され、十五競技された。目が実施された。

両校生徒会執行部で構成される甲鶴戦実行委員会は、昨年の十二月から協議等を重ね、当日の運営に当たった。

応援団は、連日声を枯らすまで練習をし、当日は選手のパレーを大いに盛り上げてくれた。そして、吹奏楽部・放送部・美術部・書道部といった部活動も、影の立役者となり、より素晴らしい甲鶴戦となるように協力してくれた。

結果は、接戦の末、九対八で鶴丸が勝利した。この勝利は、部活動生の努力の証であることはもちろんのこと、一致団結した応援の力を発揮した全校生徒全員で手に入れたものである。閉会式後には、吹奏楽部に

創立記念講演



創立記念講演の様子

四月二十一日(月)、創立記念式典・記念講演会が行われた。記念式典では、音楽部員とともに、一中・一高女の先輩方がそれぞれの校歌を高く歌い上げ、皆に鶴丸百十四年の歴史を感じさせる演奏となった。

記念講演会では本校の卒業生で弁護士の宗村森信先生が「己を彫む」私の中の鶴丸精神」という演題で講話してくださいました。宗村先生は穏やかな語り口で自らの経歴をもとに、鶴丸生に多くのメッセージを伝えられた。可能性がゼロでないかぎり「小さなチャンスを活かす」ことによって、夢に向かって努力するということが、本校の「F O R O T H E R S」の精神は、単に自分を押しのけたり、他人に尽くすというのではないということ、そして「学ぶ楽しさを見出すこと」の大切さ。宗村先生の様々なお言葉は、私たちが日頃の自分を省みる機会を与えてくださる深いものであった。同じ学び舎で過ごした先輩ならではの、アドバイスをしっかり受け止め、さらに飛躍し続ける鶴丸を築いていこう。

平成20年度大学入試結果

大学名	合格者数	大学名	合格者数
東京大学	22	京都大学	6
一橋大学	7	大阪大学	10
東京工業大学	4	広島大学	10
お茶の水女子大学	6	九州大学	47
東京外国語大学	2	熊本大学	8
筑波大学	6	鹿児島大学	79
〔国公立大学合計 259名〕			
慶應義塾大学	26	中央大学	31
早稲田大学	49	立命館大学	27
〔私立大学合計 372名〕			

本校生の受験した主な大学のみ

先輩からのオリエンテーション

4月下旬、四回にわたって二年生が一年生の教室に行き、学校生活についてアドバイスするという先輩からのオリエンテーションが行われた。一年生の教室を訪れた二年生は、自分の現在の学校生活の様子をはじめ、入学時の心境や、時間を有効活用する予習のしかた、鶴丸生の休日過ごし方、部活動の魅力についてなど、様々な視点からの話題を用意し、一年生たちに激励のアドバイスを行った。オリエンテーション後は、「先輩たちは、皆大人っぽくて、遠い存在のような気がしていたけど、今日の話を聞いて、先輩たちにも大変な時期があったのだということが分かり、安心した。これから頑張ろうという気持ちになった。」という満足げな一年生の声が聞かれた。